



園だより かけはし

キッドワールドこども園
令和6年8月1日

ようやく梅雨が明け、本格的な夏になってきました。

保育室や運動場からは、プール遊びや泥んこ遊び、色水遊び、染め紙遊び、スライム遊びを楽しんでいる子どもたちの笑い声が響き渡り、どの子ども喜びに満ちた表情で、遊びを存分に楽しんでいる姿がみられます。

8月も引き続き魅力的な遊びを計画しています。子どもたちにとってプール遊びや泥んこ遊び等の活動時間だけが遊びではなく、栽培(ピーマン、ミニトマト、きゅうり)で収穫した野菜でクッキングをしたり、絵の具を使って色水遊びやマーブリングをしたりする中で、園生活での点と点が遊びにつながり、子どもたち同士で気づきや感じたことを言葉や表情で表現し合えるように関わる機会を作っていきたいと思えます



行事予定

日	曜日	園児に関すること
1	月	Kids English
6	火	身体計測(4歳児)
7	水	身体計測(5歳児)
8	木	Kids English、身体計測(3歳児)
9	金	身体計測(2歳児)
16	金	弁当日
20	火	身体計測(1歳児 Aクラス)
21	水	身体計測(1歳児 Bクラス)
22	木	Kids English、健康診断、身体計測(0歳児)
23	金	誕生会
28	水	避難訓練
29	木	Kids English
30	金	プール納め

Instagram始めます!

キッドワールドこども園では、8月1日(木)より、Instagramを開設することとなりました。内容としては、保育者によるおすすめ絵本の紹介や、行事食の写真、遊びの準備から遊びにつながる流れなどルクミーで配信とは違った側面から情報の発信をしていきたいと考えています。ぜひ、フォローをよろしくお願いいたします。

<https://www.instagram.com/kidworld.1?igsh=MXZscGF6MXVlaTM1dg==>

※園からのフォローはいたしませんのでご安心ください。



お知らせ・お願い

※ 8月の弁当日は、16日(金)です。子どもさんが楽しみにしています。忘れないようにお持ちください。

※ 8月の保育料の納入期間は、26日(月)・27日(火)・28日(水)の3日間です。

(期限内に納入できない場合は、教頭の奥下までご相談ください。)



子どもの発達と言葉(2)

総合園長 牧野 桂一

7月の園日よりでは、子どもの発達と言葉の関係性について考えてみましたので、今回は、言葉が育つ重要な側面として子どもの言葉を取り巻く環境の整備ということについてふれてみたいと思います。

まず、子どもたちが話をするときのことを考えると、話したい内容が子どもの頭の中に浮かんできて、それを話したい相手に話しかけるようになります。そのときに、言葉は子どもの中に生まれます。そして、そこで生まれた言葉が子どもの話したい内容として特定の相手に伝えるという言語活動として展開されるのです。つまり、「誰かに伝えたい内容・話したい内容(感動や発見、好きなことなど)が子どもの中に最初にあって、話したい相手(好きな人、分かってくれる人)がいる時」に、子どもは言葉が必要になります。したがって、話したい内容や話したい相手がいなくては、子どもには言葉は生まれてこないのです。子どもたちに早く話をさせようと焦って、カードや写真やテレビで言葉をたくさん教えても、子どもの言葉は育っていかないのです。

このように子どもに言葉を育てていくためには、言葉だけを取り立てて教えるのではなく、まず「その子が人に伝えたいと思うような感動的な経験をたくさんすること」と「その子の「気持ちがワクワクドキドキするような感動的なことを周りの人と一緒に体験すること」が、子どもの中に子どもの言葉を育てていくことになるのです。

周りの大人は、その子が今、興味・関心をもって心を燃やしているものをしっかりと受けとめて、それに共感し、子どもと同じ気持ちになって、一緒に遊ぶと言うことが言葉を育てるためには大切なことなのです。その遊びの中で大人が発する言葉が、子どもに受けとめられ、子どもの中に生き生きと蘇るとき、人間の言葉は生み出されてくるのです。

最近子育ての相談で、子どもたちの言葉にかかわる相談がととも増えています。なぜこれほど言葉にかかわる不安な事が起きているのかと言うことを考えると、そこには「子どもたちの発達と環境」の問題が深く関係しているように思います。

<エッセイに一言>

今回のエッセイの中で特に印象的な言葉がありました。それは、『子どもたちが話をするときのことを考えると、話したい内容が子どもの頭の中に浮かんできて、それを話したい相手に話しかけるようになる』という言葉です。子どもは沢山の経験を積み重ねていくことで、相手に伝えたいという気持ちが芽生え、それを伝えることで言葉が育ってきます。以前にもメディアと脳の関係性について取り上げましたが、一方通行の情報だけでは、相手に気持ちを伝えたいという感情が起きにくいということがわかっています。

また、慶應義塾大学環境情報学部今井むつみ研究室では、主に認知科学、言語認知発達、言語心理学の学習を専門として研究をしている今井むつみさんによると、幼児期から質の高い言葉かけをたくさんすることが大事であり、質の高い言葉とは、子どものお喋りを楽しむ気持ちで普通に話すことや、子どもの発達段階に合わせて子どもをよく見て話していれば誰でも質の高い言葉かけにつながることです。しかし、この当たり前に見えることが仕事と家庭との忙しさから時間を十分に作れないこともあり、そこにスマートフォンやタブレットで子守をさせてしまうということも現実問題としてあります。

では、子どもとのコミュニケーションで有効なものがあります。それは、読本の読み聞かせです。子どもに与える効果として、子どもの心が安定する、想像力が育まれる、言語能力が向上する、感情表現が豊かになるというのがあげられます。キッドワールドこども園でも、毎月、月刊絵本が約100冊届いています。絵本が身近に感じられるように環境作りをしているので、ご家庭でも時間のある時は読み聞かせをしてみたいはいかがでしょうか。

園長 高津 宏児